

平成 30 年北海道胆振東部地震に伴う岩手県応援本部の対応状況

平成 30 年 9 月 7 日 (金) 14 時 00 分現在
岩手県総務部総合防災室 防災危機管理担当
電話 019(629)5166

下線部は前回からの変更点

9 月 6 日 (木) 3 時 8 分頃に北海道胆振地方中東部を震源とする最大震度 7 の地震が発生したことに伴い、4 時 00 分に岩手県応援本部を設置しました。

9 月 7 日 (金) 14 時 00 分現在の対応状況については、次のとおりです。

1 地震の状況

- (1) 震源地：北海道胆振地方中東部
- (2) マグニチュード：6.7 (暫定値)
- (3) 震源の深さ：約 37 km (暫定値)
- (4) 津波の心配はなし

2 政府、北海道等の対応

- (1) 政府：6 日 3 時 9 分に首相官邸対策室設置 (室長 内閣危機管理監)
- (2) 消防庁 9 月 6 日 3 時 8 分 災害対策本部設置 (本部長 消防庁長官)
- (2) 北海道：6 日 3 時 9 分に災害対策本部設置 (本部長 北海道知事)

3 被害状況 (9 月 7 日 11 時 00 分現在 北海道総務部危機対策局調べ)

- (1) 人的被害
 - ア 死者 8 名
 - イ 心肺停止 7 名
 - ウ 重傷者 2 名、中等傷 8 名、軽傷者 131 名
- (2) 物的被害
全壊 28 棟、半壊 18 棟、一部破損 9 棟
- (3) 避難所・避難者
避難所 768 箇所、避難者数 7,339 名
- (4) インフラ
 - ア 停電 道内 149 万 4 千戸
 - イ 水道 全面断水 2 町、一部断水 30 市町村
 - ウ 鉄道 午後から運行再開も未定 (北海道新幹線一部運行を再開)
 - エ 道路 通行止め 16 路線 22 区間 (国道、道道、高速道路)
 - オ 空港 国内線 141 便が欠航 (国際線は確認中)

4 本県への影響

- (1) 人的被害：北海道から岩手県に対する応援職員 3 名全員の家族について無事であることを確認した
- (2) インフラ：花巻空港間新千歳空港は一部欠航
北海道新幹線は一部運行再開

5 本県の対応

- (1) 岩手県応援本部の設置
 - ア 本地震に係る応援本部を年 9 月 6 日 4 時 00 分に設置
 - イ 応援本部連絡調整会議
9 月 6 日 7 時 10 分 応援本部事務局会議を実施

	<u>8時00分</u>	<u>連絡調整主要部局会議を実施</u>
	<u>17時15分</u>	<u>第1回連絡調整全体会議を実施</u>
<u>9月7日</u>	<u>17時30分</u>	<u>第2回連絡調整全体会議を実施</u>

(2) これまでの対応状況

- 9月6日 消防庁から県に対し緊急消防援助隊の出動要請があり、本県防災航空隊の隊員7名及び県内5消防本部から17隊62人が出動
現地連絡員（リエゾン）として職員3名を北海道に向け出発
厚生労働省からDMAT（災害派遣医療チーム）及びDMATロジスティックチームに対する派遣要請があり、本県DMATチームが北海道に向け出発
厚生労働省からDPAT（災害派遣精神医療チーム）に対する派遣要請あり
- 9月7日 DMATチーム及び事務員等がフェリーで北海道に出発
DPAT（災害派遣精神医療チーム）がフェリーで北海道に出発

(3) 緊急消防援助隊の活動状況

ア 防災航空隊（ひめかみ）

9月6日6時10分に花巻空港を離陸し、8時38分丘珠空港に到着。災害対策本部の指揮下で同日10時40分から安平町、厚真町で救助捜索活動を実施

9月7日要請があった場合の救助活動及び地上部隊の人員搬送を実施

イ 陸上部隊（県内5消防本部）

9月6日17隊62名が宮古港に集結し、宮古港8時35分発のフェリーにて室蘭港に向け出港し、同日18時24分に到着

9月7日厚真町において、救助、消火小隊、指揮隊、救急小隊に分かれて活動予定

緊急消防援助隊に花巻消防本部1隊3名が追加派遣予定。22時八戸港を出港予定

(4) 岩手DPATチーム（災害派遣精神医療チーム）

9月6日11時30分厚生労働省からDPATに対する派遣があり、先遣隊が9月7日2時40分発の青森発のフェリーで北海道に出発。

9月7日北海道庁設置の北海道DPAT調整本部において活動（精神科医療機関被災情報の更新と支援、避難所活動開始に当たっての体制整備等）

(5) 岩手DMATチーム（災害派遣医療チーム）

9月6日14時18分厚生労働省からDMATに対する派遣要請があり、同日22時25分青森発のフェリーでロジスティックチーム、中部、大船渡チームが出発

9月7日2時40分青森発のフェリーで中央、日赤、宮古チームが出発。同日8時宮古発のフェリーで医大及び事務員等が出発

市立苫小牧病院を参集拠点とし現地統括DMATの指示より活動を実施

(6) 現地連絡員（リエゾン）

9月6日10時30分現地連絡員（リエゾン）として、総務部総合防災室3名を青森県庁に向け出発。情報収集後、北海道庁に向け転進。

9月7日12時10分安平町役場に到着し、被害状況を把握。同日17時道庁で総務省及び各県リエゾンとの調整会議に参加する予定

沿岸広域振興局から3名の追加派遣を決定。9月8日宮古港発8時のフェリーで出発予定

(7) 岩手県警察特別交通部隊

9月8日から特別交通部隊（車両8台16名）を仙台港発19時40分のフェリーで北海道に派遣予定

6 広域応援

- (1) 「大規模災害時等の北海道・東北8道県相互応援に関する協定」に基づく北海道への応援調整道県は青森県

- (2) 北海道・東北ブロックのカバー圏は関東圏
- (3) 全国知事会の動き：災害対策都道府県連絡本部を5時30分設置し、情報収集中
- (4) 対口支援 災害対策本部の運営支援、避難所運営及び罹災証明書の発行等のため、10～30人の派遣を検討中

7 その他

(1) 関係機関の対応状況

ア 陸上自衛隊岩手駐屯地

9月7日第2施設団14名が重機等を帯同し出動予定

イ 岩手河川国道事務所

9月6日緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）が出動

(2) 市町村の対応状況

ア 宮古市

室蘭市からの要請により、発動発電機（7機）、アルファ米（2,000食）飲料水（30箱）、缶詰（1,080食）、ランタン（10個）、カセットボンベ（100本）毛布（一箱）を9月7日8時発のフェリーにて送付

イ 奥州市

姉妹都市である厚真町と長沼町に対し支援体制を構築し支援について協議